

彦根城の世界遺産登録を通じた持続可能なまちづくり

1 世界遺産登録に必要なこと

彦根城を世界遺産に登録するためには、次の3点が重要なポイントです。

- ①世界的な価値があることを証明（価値）
- ②世界的な価値を守るための保存管理体制の整備（保存）
- ③世界遺産を活かしたまちづくりの取り組み（活用）

2 世界遺産の新たな動き

世界では、近年、世界遺産を持続可能な社会を実現するための取り組みだと考えるようになりました。文化庁は、令和2年度に世界遺産のあり方を見つめなおし、①価値の証明、②保存管理体制の整備に加えて、③地域住民がみずから、世界遺産を活かした持続可能なまちづくりに取り組むことが重要であることを示しました。

SDGs（持続可能な開発目標）

目標11 住み続けられるまちづくりを
達成基準11-4 世界文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する

3 なぜ世界遺産が持続可能なまちづくりに重要なのか

世界遺産に登録される資産は、そのまちの魅力の源であり、その資産が失われてしまうと、まちの魅力が失われてしまいます。また、そのまちの住民がそこに住み続けられるようにすることも大切です。なぜなら、住民がいなくなってしまうと、その資産を維持する担い手がいなくなり、資産を未来に伝えていくことが難しくなり、まちが衰退してしまうからです。そのまちの魅力の源である資産を活かしながら、住民が幸せに暮らし続けられるようにすることが、世界遺産登録にあたって重要なポイントだと思います。

4 彦根城を活かした持続可能なまちづくりとは？

彦根城をどのように活かしながら、これからのまちづくりをどのように進めていくのがよいのでしょうか。彦根城の活かしかたは、その人の暮らしている場所や立場の違いなどによって、必ずしも同じにはならないはずです。彦根城の世界的な価値や、保存管理体制のあり方などを踏まえて、「彦根城をどのように活かしながら、これからのまちづくりをどのように進めていくのがよいか」、ご自身のお考えを別紙の記入用紙にお書きください。